



さくら会 だより

*さくら会のマーク

重なりあう花びらは、人と人が互いに尊重し、理解を深め合う利用者とさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

第60号 2022年1月発行 社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井5-19-1
☎(03)5753-3900(代)・FAX(03)5753-3955
ホームページ: <http://www.sakurakai.jp/>



明けまして おめでとうございます!!



社会福祉法人さくら会

理事長 前田 武昭

明けましておめでとうございます。
旧年中は一方ならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

ご承知の通り、一昨年、令和2年の初めから新型コロナウイルスが発生し、これまで経験したことのない流行となりました。

さくら会でも、感染予防対策を重点的にを行い、おかげさまで南大井・西五反田・大井林町の3つの高齢者複合施設等での事業運営を無事行うことができました。

しかし、例年1月に行っているさくら会まつりを始め、多くの集いや行事などを中止せざるを得ませんでした。ご利用者の皆様にも多大なご不便をおかけしました。

一方で、本年10月には、新規感染者数も劇的に減少しました。まだまだ安心はできない状況ではございますが、直接面会の再開など通常営業を少しずつ始めてきております。今後ご利用者と地域の皆様には選ばれる質の高いサービスを追求してまいります。

本年もなにとぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

今年は、コロナ禍も完全に終息し、明るく笑顔に満ちた年になりますよう皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。



紅葉の玄関飾り制作

品川区立大井林町高齢者住宅

年々季節の変わり目がわかりにくくなり、秋を実感することも少なくなりましたが、大井林町高齢者住宅の玄関は今年も紅葉飾りで彩られました。

紅葉は、一枚一枚切り抜いた障子紙を絵の具で染めて作ります。手がける人の個性が反映され、様々な葉が出来上がりました。

また、それらを枝に組み付ける際には、皆で協力し合って葉の表情に工夫を凝らしました。そうしてできた玄関飾りは、京風の丸い窓を模したものとなり、入居者の皆様に好評です。

コロナ禍にあつて、アクティビティ企画の活動も人数を制限したものになっています。



それでも、出来上がった玄関飾りは人の目に触れ、楽しんでいただける物になったのだと思います。

令和3年度上半期

苦情解決・サービス向上委員会

さくら会では提供する福祉サービスの向上を図ることを目的とし、法人全体で苦情解決・サービス向上委員（以下「第三者委員」という。）を置いています。

令和3年11月4日、第三者委員の田尻委員、坂本委員、橋本委員をお迎えし、南大井・西五反田両事業部合同の苦情解決・サービス向上委員会を開催しました。



いくつか事例について意見交換しましたがここでは、ケアマネジャーに関する事例について取り上げたいと思います。ご利用者やご家族から訪問時期及び回数、区分変更、費用に関する説明等、要望や苦情がありました。

ケアマネジャーは地域の在宅支援の窓口としてご利用者のニーズの把握やサービスのプラン、制度の理解等に高い能力や知識を求められますが、認識の違い、経験値等から苦情となる場合があります。

第三者委員の皆様からはコミュニケーションの難しさや認定調査の仕組みの確認、仕事に心を入れること等、助言を頂きました。

また、田尻委員からは両事業部の現場での情報交換の重要性についてご指摘がありました。引き続き、福祉サービスの適切なご利用、ご利用者の満足度向上を目指し、日々邁進してまいります。

防災訓練

「訓練放送。地震発生。東京湾震源震度6強。」

南大井高齢者複合施設では、消火器や消火栓を用いた初期消火訓練、非常食の取り扱いの訓練など、いざというときに行動できるよう、月に1回、防災訓練を実施しています。



秋には、独自に作成した「震災対応マニュアル」に基づく訓練を行いました。

午後9時、震度6強の地震が発生し、津波が30分後に到達するという想定で、訓練開始。津波に備え2階に災害対策本部を設置し、責任者の指示により、入居者の人数確認、負傷者への対応などマニュアルの検証をしていきます。時には、不測の事態が発生させて参加者を困らせますが、苦勞しながらも何とか対応します。

終了後には、参加者が訓練を振り返り、反省点や意見を出し合っており、実態に沿ったマニュアルを作っています。

これからも、災害時に全職員が素早く行動できるよう、繰り返し防災訓練を行ってまいります。



秋のイベント

ケアセンター南大井

今年も新型コロナウイルス感染症予防対策により、さくら会祭りが中止となったため、11月上旬に各フロアで秋のイベントを企画し、2階は『運動会』を、3階は職員による『和太鼓』演奏を披露いたしました。



リハビリ体操の様子

参加したご利用者は、マッケンサンバのリズムに乗って「マッケンサンバ〜」と一緒に歌いながら、とても楽しそうに身体を動かしていました。
3階の和太鼓演奏では、演奏に合わせて手拍子や踊り出す方もおり、大変盛り上がりました。



日頃、お部屋で過ごすことが好きな方も、太鼓の響きに「何が始まるの?」と、いそいそとフロアに出て来て下さり、職員にとっても嬉しい限りでした。

両フロアとも、短時間でのイベントでしたが、ご利用者の笑顔はとても素敵でした。

オンラインで

認知症サポーター養成講座

南大井在宅介護支援センター

令和3年10月8日、第一生命保険株式会社の従業員72名を対象に、認知症サポーター養成講座を行いました。コロナ禍のため、第一生命の皆様にご協力を頂き、オンラインで開催しました。



当日は、講義と動画で認知症について学んだ後、認知症の方との関わり方と、高齢の方に接する時の気配りについて、6名ずつのオンライングループで意見交換を行いました。

「認知症を自覚している方がいると知り衝撃的だった」「当事者の思いや、正確な情報を知る事ができた」「認知症の方と共存する為にも、焦らせない・優しく声をかける等、周囲に理解を届けたい」と、活発で充実したグループ討議をしていました。

今後、集う認知症サポーター養成講座に加え、オンライン講座も行って参ります。
どうぞ、お気軽にお問合せ下さい。

介護予防講演会

ケアセンター南大井通所リハビリ

伊藤 重忠

去る10月25日に品川区役所講堂で開催された「介護予防講演会」を担当させていただきました。講演内容は「健康長寿」「フレイル予防」のための3つのポイントについてお話しさせていただきました。

1つ目は、運動や体操など「動くことの大切さ」についてです。
2つ目は、色々な食品を幅広く選ぶことやたんぱく質の重要性など「食べることの大切さ」についてです。

3つ目は、自粛生活が長引いている昨今ですが「人との交流や社会参加の大切さ」についてです。



感染症対策のため参加者を制限しての開催でしたが、来場された方々は、資料に書き込みをされたり、肯かれたり、熱心に聴講されていたりしました。

講演の最後に現在ケーブルテレビ品川で放送中の「品川区介護予防体操」の一部を紹介し、動画にあわせて少しだけ一緒に実施していただきました。体操の効果もあってでしょうか笑顔で閉会の時間を迎えることができました。

これからも微力ではありますが、品川区における健康増進の取り組みに努めていきたいと思っております。

冬のヒートショックを防ぐために

入浴は体を温め血行を良くし、気分をリラックスさせてくれます。しかし家庭の浴室ではヒートショックによる体調変化が多く、注意が必要です。

ヒートショックは、急激な温度変化により血圧が大きく変動することで起きる健康被害です。

心筋梗塞や脳梗塞、脳出血などを引き起こすと言われるヒートショックを防ぎ、安全に入浴するためのポイントを紹介いたします。



- 1 体調が悪い時、また食べてすぐや、飲酒後の入浴は控える。
- 2 入浴時は、家族にひと声かける。
- 3 脱衣所や浴室は暖かく、湯温は41度以下にする。心臓に遠い足↓腹↓胸の順でかけ湯をする。
- 4 立ちくらみを防ぐため、ゆっくりと浴槽から立ち上がる。
- 5 これらの点に注意し、安全で気持ちの良い入浴時間にしていきましょう。

家族が見守る習慣を

浴室全体を暖めておく

お湯の温度は41℃以下に

入浴時間は10分間位で

新型コロナウイルス感染症対策

さくら会ではこれまで様々な感染症対策を行ってまいりました。その一部をご紹介します。

まず、ワクチン接種です。入所施設のご利用者は品川区の手配で医師を派遣して頂き接種、職員は各住所地で接種の他、国や品川区、近隣病院のご支援による職域接種等で2回、終えることができました。

PCR検査は品川区による一昨年11月実施を皮切りに、以降東京都や品川区、日本財団の無料検査事業によって月2回〜4回、職員が受検し、おかげさまで大過なく運営を継続しております。検査は施設の利用者だけでなく職員にも感染予防、感染早期発見等の安心感をもたらすものです。高齢者施設という環境とはいえ、行政や検査機関からの助成にこの場をお借りして改めて感謝申し上げます。

法人内では感染予防対策委員会を開催しています。ご利用者や職員の感染状況を確認し対応を検討する他、面会やボランティア活動に至るまで感染症に関わることを全てを医師である前田理事長と尾辻施設長の他、所長等が協議し決定しています。また、尾辻施設長から発信される感染症最新情報を予防対策や注意喚起に役立てています。令和3年度は10月迄で既に開催14回を数えました。

新規感染者が減ってきたとはいえ、ブレークスルー感染やクラスタの発生等、まだまだ心配なことも多く気を緩めることはできません。入所や通所されている皆様、職員の安心安全を守るため今後も感染症対策に力を注いで参ります。そして、この広報誌が皆様のお手元に届くころ、皆様がいいお正月を迎えられていますように切に願っております。



新理事の紹介

理事就任

木内 茂之理事（荏原医師会会長）

新たに就任して頂きました。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願致します。



連載No.19

……専門職に聞く……

南大井在宅介護支援センター

介護支援専門員 岡田 晶子

Q1：仕事の内容

「できる限り住み慣れた我が家で暮らす」ために、南大井地区の身近な相談窓口として、お一人おひとりに合わせた総合的なケアマネジメント業務を行っています。

Q2：専門職として心掛けていること

「できることは自分でしたい」ための自立支援や、「自分らしく暮らしたい」ための人生観を尊重し、ご家族や住民の皆様と支え合い、見守り合い、寄り添い合える、伴奏者であること。

Q3：ご利用者、読者に向けてメッセージ

実母の介護を担っています。母の前では、一家族として一喜一憂します。介護はみんなで支え合う時代です。

お互い様の気持ちで、共に支え合う地域を作っていきましょう。



次回7月号は「看護職」
羽田 佳奈さんの登場です！

さくら会だよりの感想をお聞かせ下さい。

〒140-0013 品川区南大井5-19-1

社会福祉法人さくら会 編集委員会 宛

次回の発行予定は、令和4年7月です。